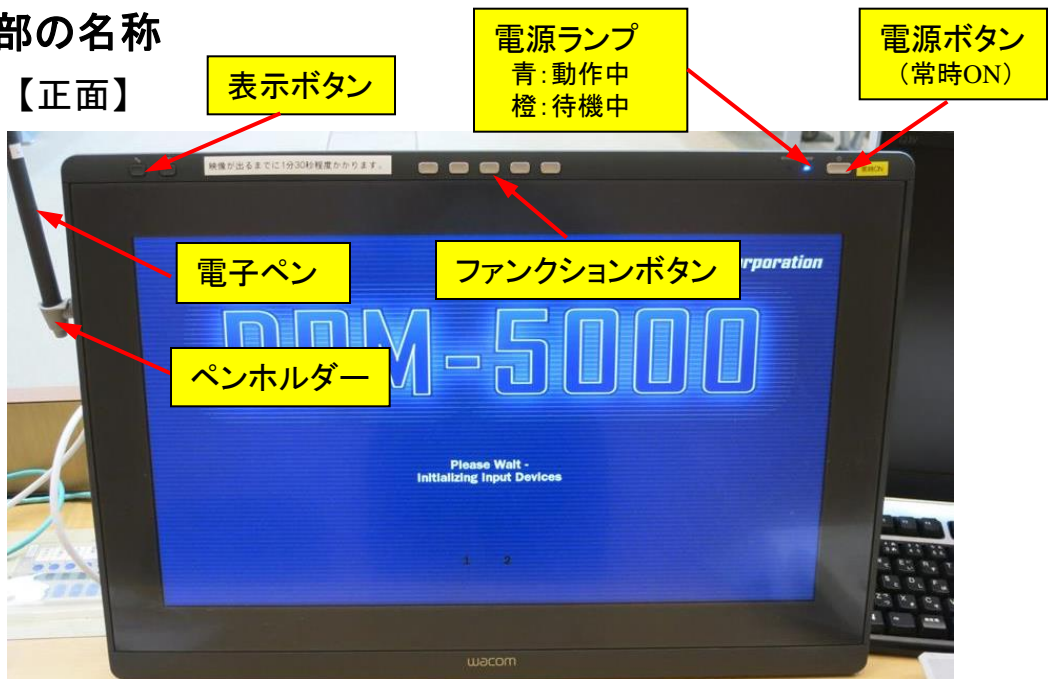


5. タブレットモニター の操作 (デジタルポイントメーカー)

I モニター本体の使い方

1. 各部の名称

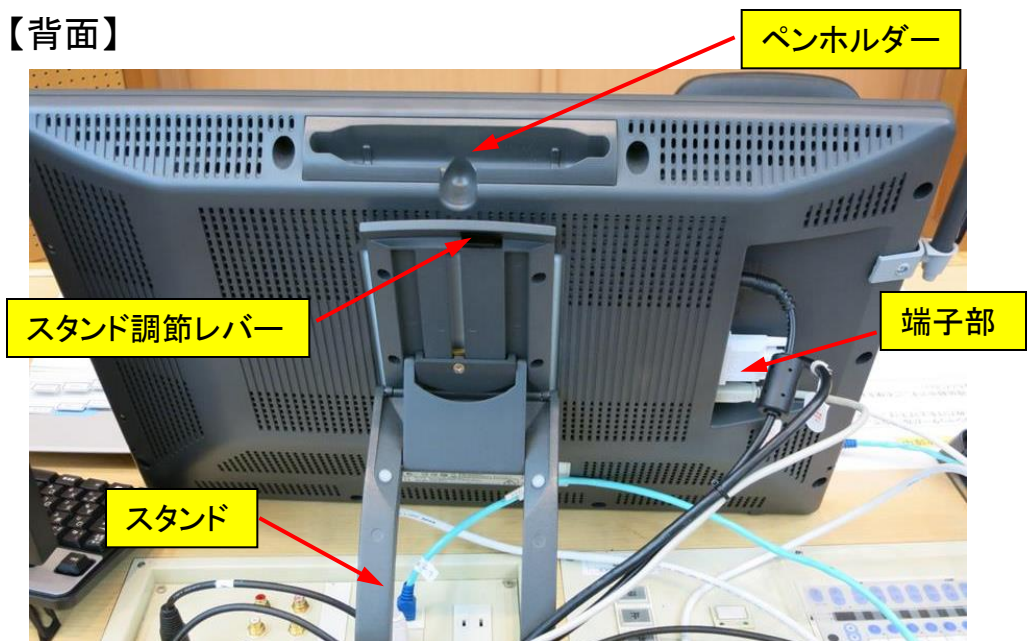
【正面】



⚠ 表示ボタンは調整時に使用するものであり、通常は触れないでください。

⚠ ファンクションボタンは現在機能は設定していません、無効となっています。

【背面】



⚠ スタンドを持って、本体を持ち上げないようにしてください。スタンドが破損するおそれがあります。

⚠ 本モニターは、教卓下にあるデジタルポイントメーカーとUSBケーブルで接続されていますが、誤動作の原因となるので、絶対に抜かないようにしてください。



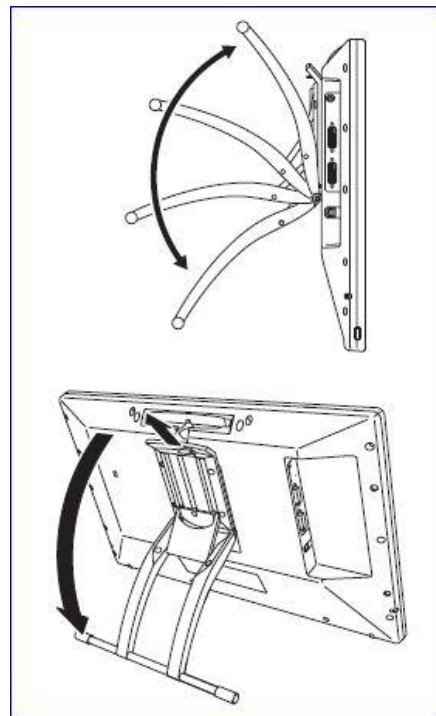
5. タブレットモニター の 操作 (デジタルポイントメーカー)

2. モニターの角度調整方法

(1) スタンドを開くには、スタンド調整レバーを引き上げてロックを外し、スタンドを外側に使いやすい角度まで開く。レバーから指を離すと、その位置でスタンドはロックされる。

(2) スタンドを閉じるには、スタンド調整レバーを引き上げてロックを外し、スタンドを元の位置に静かに戻す。レバーから指を離すと、その位置でスタンドはロックされる。

- ⚠️ スタンドの可動部の隙間に、指を挟まれないように注意してください。
- ⚠️ スタンド調整レバーを引くときは、必ずスタンドに手を添えて支えてください。スタンドが倒れ破損やけが、故障の原因になることがあります。
- ⚠️ モニターを動かす場合、端子部のケーブルに力がかかったり、折れ曲がらないように注意してください。

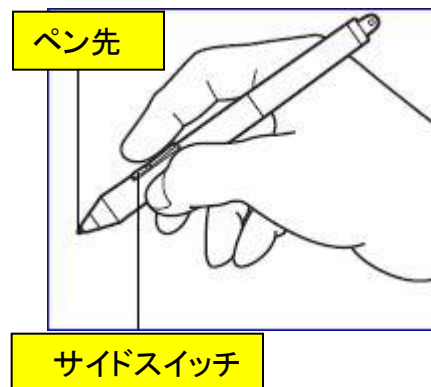


3. 電子ペンの使い方

(1) 電子ペンは通常のペンや鉛筆のように持つ。軽く画面に触れると、マウスの左クリックと同じ働きをし、クリック、ドラックなどの操作ができる。

(2) サイドスイッチはあらかじめ設定した機能を働かせることができる。デジタルポイントメーカーでは、描画図形の各図形ごとの消去を行うことができる。

- ⚠️ 使用後は必ずペンホルダーに収納してください。(紛失防止とペン先保護のため)
- ⚠️ 本タブレットモニターには、通常のペンや鉛筆は使用できません。また、電子式のペンであっても、他機種では誤動作を起こすことがあるため、必ず本タブレットモニター付属の電子ペンを使用してください。



4. 電源のON/OFFに関して

タブレットモニターの電源は教卓の主電源と連動するため、ON/OFF操作は不要である。(オレンジ色のランプが点灯しているのが正常)

5. タブレットモニター の 操作 (デジタルポイントメーカー)

II 描画機能の使い方

以下はデジタルポイントメーカーにより、タブレットモニター上の全ての映像に描画を行うための基本操作を記述したものである。

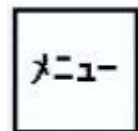
なお、描画された図形は常にタブレットモニターに表示されるが、プロジェクターに表示するためにはタッチパネルのAVソース選択メニューで描画映像を選択し、プロジェクター枠をタッチする必要がある。

(適用教室:レクチャーA, B, C, 301 共通教育棟401、405)

1. 起動

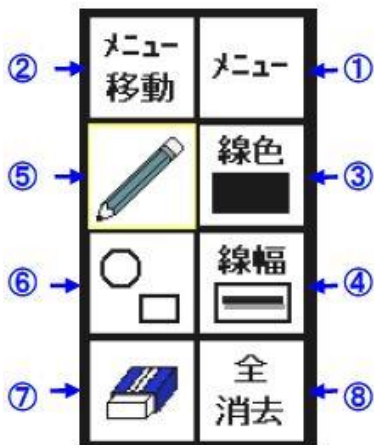
電源を入れ、しばらくして本機が操作可能になると、出力映像の右上に“メニュー”アイコンが表示されます。このアイコンを選択し、ツールバーメニューを表示させ、各種操作を行ってください。

⚠ 電源を入れてから、出力映像と“メニュー”アイコンがでるまで2分程度かかります。



“メニュー”アイコン

■ ツールバーメニュー



【図 4.2】 ツールバーメニュー

- | | | |
|---|--------|---------------------------------|
| ① | メニュー | ツールバーメニューの表示を ON/OFF することができます。 |
| ② | メニュー移動 | ツールバーメニューの表示位置を移動することができます。 |
| ③ | 線色 | 描画色を選択することができます。 |
| ④ | 線幅 | 描画幅を選択することができます。 |
| ⑤ | 自由描画 | 自由に描画することができます。 |
| ⑥ | 図形描画 | 直線・円・四角形を描画することができます。 |
| ⑦ | 消しゴム | 描画した内容の消去と操作の取消(Undo)ができます。 |
| ⑧ | 全消去 | 全ての描画内容を消去します。 |



選択中のアイコンは枠が黄色に表示されます。

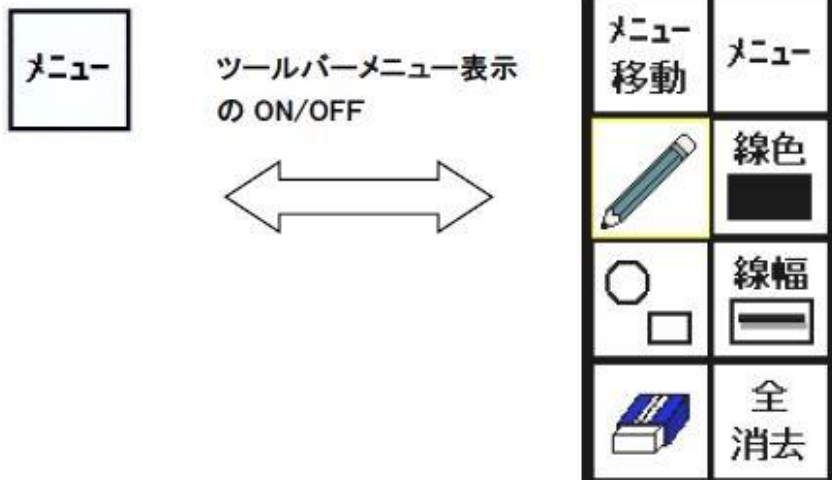
5. タブレットモニターの操作 (デジタルポイントメーカー)

2. 基本操作

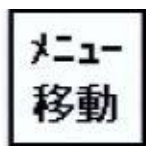
(1) メニュー

“メニュー”アイコンを選択するたびに、ツールバーメニュー表示のON/OFFが切り替わります。

- ⚠ ツールバーメニュー表示のON/OFFを切り替えた時に現在の設定や描画内容が保存され、次回起動時に反映されます。
- ⚠ ツールバーメニュー表示をOFFからONに切り替えた時は、今までの描画内容の再表示を行います。



(2) メニュー移動

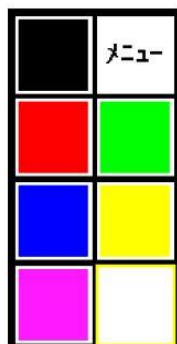


ツールバーの表示位置を移動することができます。
“メニュー移動”アイコンを選択したままペンを移動すると、ペンを離れた位置までツールバーメニューが移動します。

(3) 線色



描画する線の色を選択します。
“線色”アイコンを選択するとサブメニューが表示され、描画する線の色(黒・緑・赤・黄・青・白・ピンク)を変更することができます。サブメニューを閉じる場合は、メニューアイコンを選択してください。サブメニューを閉じた時に現在の設定や描画内容は保存され、次回起動時に反映されます。



① “線色”アイコンを選択すると、サブメニューが表示されます。

② 描画する線の色を選択します。

【線色サブメニュー】

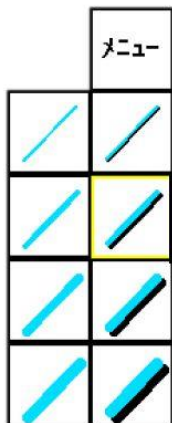
5. タブレットモニターの操作 (デジタルポイントメーカー)

(4) 線幅



描画する線幅を選択します。

“線幅”アイコンを選択するとサブメニューが表示され、描画する線の幅(極細・細・中・太・影付き)を変更することができます。サブメニューを閉じる場合は、“メニュー”アイコンを選択してください。サブメニューを閉じた時に現在の設定や描画内容は保存され、次回起動時に反映されます。



- ① “線幅”アイコンを選択すると、サブメニューが表示されます。
- ② 描画する線の幅(種類)を選択します。

【線幅サブメニュー】

(5) 自由描画

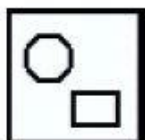


自由に描画することができます。

- ① “自由描画”アイコンを選択します。
- ② 描画の開始点にペンを移動します。
- ③ ペンをタッチし、そのままペンを移動させれば、“線色”と“線幅”アイコンで選択した色と幅で描画することができます。

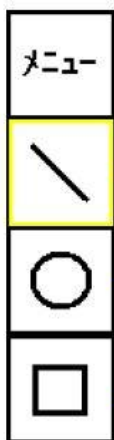
⚠ 起動時は毎回この自由描画に設定されます。

(6) 図形描画



画面上に図形(直線・円・四角形)を描画します。

“図形描画”アイコンを選択するとサブメニューが表示されます。描画したい図形を選択して画面上に描画してください。サブメニューを閉じる場合は、“メニュー”アイコンを選択してください。サブメニューを閉じた時に現在の設定や描画内容は保存され、次回起動時に反映されます。



←①

①直線……直線を描画します。

←②

②円……円を描画します。

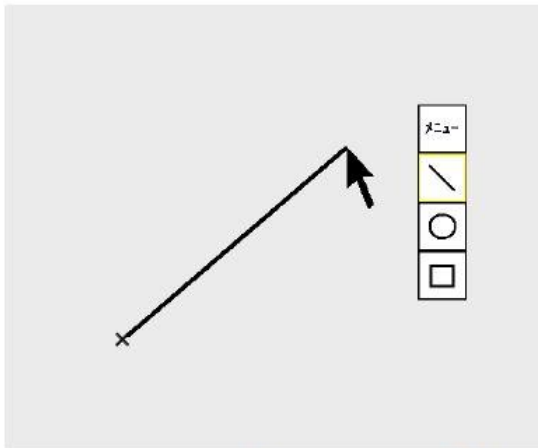
←③

③四角形……四角形を描画します。

【図形描画サブメニュー】

5. タブレットモニターの操作 (デジタルポイントメーカー)

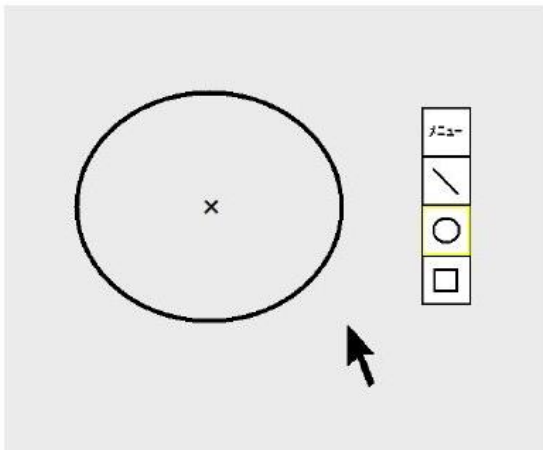
【例: 直線を描画する】



× マウスを左クリックまたはペンをタッチした点

- ① 図形描画アイコンを選択すると、サブメニューが表示されます。
- ② 直線アイコンを選択します。
- ③ 直線の開始点でペンをタッチし、そのまま直線の終点に移動し、ペンを離します。
- ④ 直線の開始点からペンを離れた点まで、直線が描画されます。

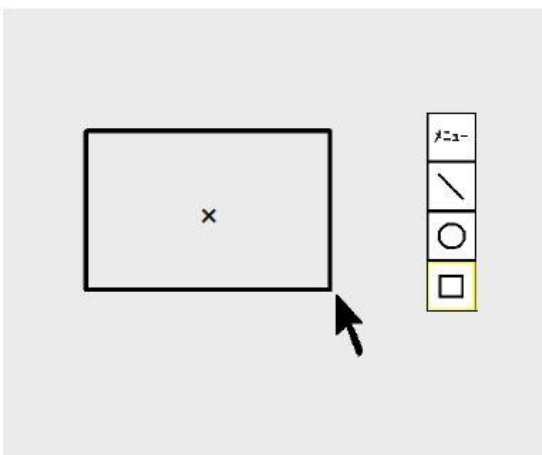
【例: 円を描画する】



× マウスを左クリックまたはペンをタッチした点

- ① 図形描画アイコンを選択すると、サブメニューが表示されます。
- ② 円アイコンを選択します。
- ③ 描画する円の中心点でペンをタッチしてください。そのままペンを動かすことで、円の大きさや形を変えることができます。
- ④ 描画したい円の大きさ、形になりましたらペンを離してください。

【例: 四角形を描画する】



× マウスを左クリックまたはペンをタッチした点

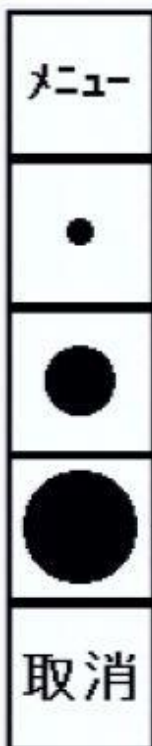
- ① 図形描画アイコンを選択すると、サブメニューが表示されます。
- ② 四角形アイコンを選択します。
- ③ 描画する四角形の中心点で、ペンをタッチしてください。そのままペンを動かすことで、円の大きさや形を変えることができます。
- ④ 描画したい四角形の大きさ、形になりましたらペンを離してください。

5. タブレットモニターの操作 (デジタルポイントメーカー)

(7) 消しゴム



描画した内容の消去と操作の取り消し(Undo)を行います。“消しゴム”アイコンを選択するとサブメニューが表示され、消しゴムのサイズ(小・中・大)と操作の取り消し(Undo)を選択することができます。サブメニューを閉じる場合は、“メニュー”アイコンを選択してください。サブメニューを閉じた時に現在の設定や描画内容は保存され、次回起動時に反映されます。



【例: 描画した内容を消去する。】

- ① 消しゴムアイコンを選択すると、サブメニューが表示されます。
- ② 消しゴムのサイズ(小・中・大)アイコンを選択します。
- ③ 消去したい部分にペンを移動します。
- ④ ペンをタッチすると、描画した内容を消去することができます。ペンをタッチしたまま移動すると、移動した部分の描画内容を消去することができます。


【例: 操作の取り消し(Undo)を行う】

- ① 消しゴムアイコンを選択すると、サブメニューが表示されます。
- ② 取り消しアイコンを選択すると、図形の描画や消去などの直前の操作を取り消すことができます。

(8) 全消去



描画した内容を全て消去します。全消去は“消しゴム”アイコンのサブメニュー取り消しアイコンからは取り消すことはできません。

-  長時間、全消去をせずに描画や描画内容の部分消去を行うと、「メモリーオーバーフローが発生しました」というメッセージが表示され、以後描画ができなくなります。この時は、一度全消去を行ってください。

(9) 電子ペンのサイドスイッチによる消去

電子ペンを、消去したい描画図形に近づけてサイドスイッチを押すと、その図形のみ消去することができます。自由描画の場合は、連続した線を一つの図形とみなして消去します。